

「今日、佐野で逢いました。」

高速バスのコピー

萩原さんが考案

大経高

栃木県佐野市をPR 行される。

キャッチコピーに
は、同市を訪れた人が

グルメ、自然、観光名所といった魅力に気がき、すてきな人と巡り合う場所であってほしいという願いを込めた。萩原さんは「外から見た佐野市の良さを詰め込んだ。自分の考えたコピーの載ったバ

スが走るのには本当によろしい」と喜んだ。昨年1月、同大地域政策学部の岩崎忠教授のゼミ生12人が同市を訪問して、岡部正英市長と職員にそれぞれキャッチコピーを提案。これに市職員グループの考案した4案を合わせた計16案から、萩原さんのコピーが選ばれた。指導した岩崎教授は「純粋な若者視点の意見を取り入れてもらい、誇りに思う。今後市民に受け入れられるコピーになってほしい」と話した。

お披露目式が29日、同市の佐野新都市バスターミナルで開かれた。キャッチコピーには高崎経済大4年の萩原加奈さんの22年前橋市が考案した「今日、佐野で逢いました。」が選ばれ、バス後部のデザインに採用された。

4月から栃木県佐野市と都内を結ぶ路線で運



バスにデザインされたキャッチコピーと萩原さん

市都市ブランド推進課によると、コピーは市の広報媒体やホームページで使うほか、市

のPR目的であれば、市に申請をした上で無料でも利用できるようにするという。